

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

三重県 名張市

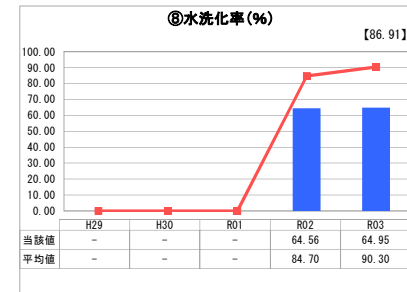
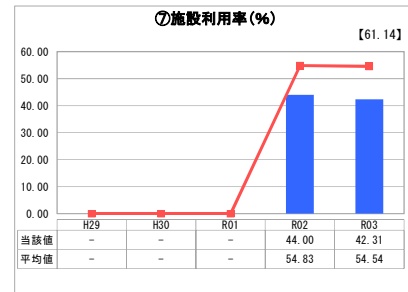
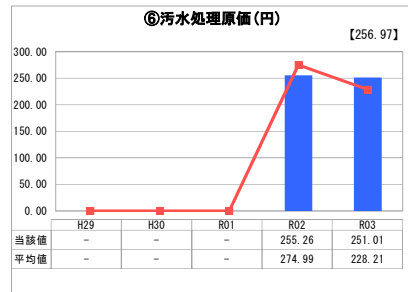
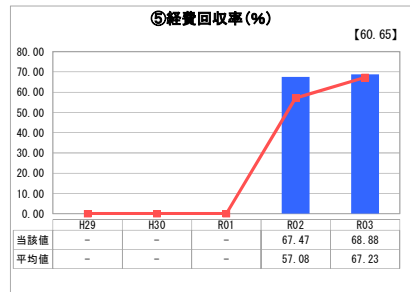
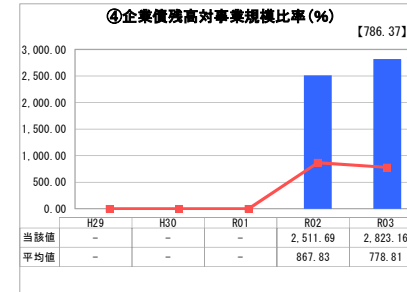
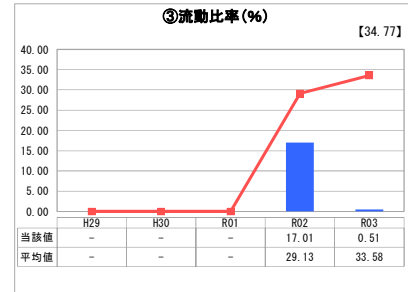
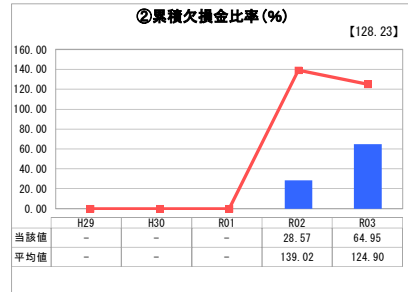
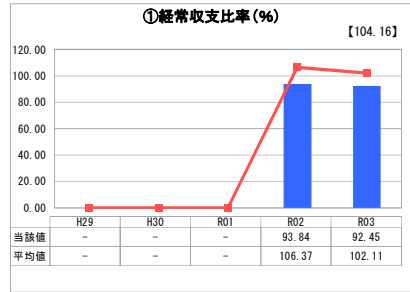
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	57.89	12.31	98.96	3,344

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
76,909	129.77	592.66
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,412	5.48	1,717.52

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

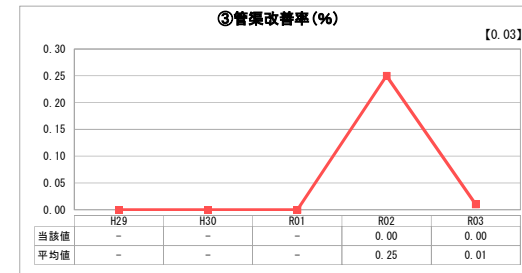
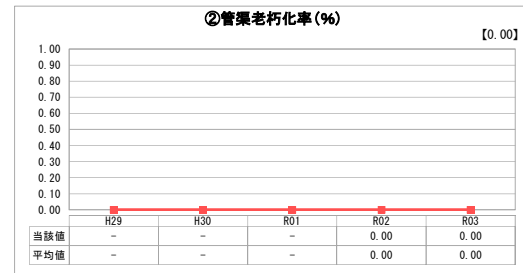
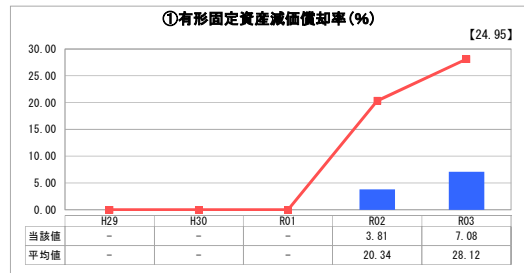
令和2年度より地方公営企業法を適用したため、令和元年度以前の数値は全て0となっている。  
 ①経常収支比率が100%を下回っている要因としては、平成24年度に使用料を公共下水道の使用料と合わせて一元化したことにより収益が減額となったことがあげられる。  
 ②累積欠損金は使用料の改定以降の収入の減額により繰越欠損金からのスタートとなったこと、2年連続での純損失によるものである。  
 ③経費回収率は類似団体の数値を上回っているものの100%未満である。  
 ④汚水処理原価及び⑧水洗化率も昨年度に比べ向上しているが⑦施設利用率は昨年度よりも低下し類似団体の数値を下回っていることから、継続して効率的な施設の維持管理を行うとともに、適正な施設の維持管理の検討に取り組みたい。

農業集落排水事業の各指標をみると、農業集落排水使用者の使用料収入だけで維持管理を賄えない状況は明白だが、当市では公共下水道・農業集落排水事業・戸別浄化槽事業を含めた健全経営を考えており、市域全体での下水道事業決算においては2年連続で純利益を出すことができています。

### 2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水事業では、最も古い地区での供用開始が平成3年となっており、管渠については耐用年数に達していないことから、②管渠老朽化率、③管渠改善率ともに0%である。しかしながら、処理施設の機器においては耐用年数が短いことから更新・修繕を行っている。そのため平成29年度に機能強化(対策)計画を策定しており、計画に基づき老朽化対策に取り組んでいる。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

農業集落排水事業については、平成30年度に11処理区全ての整備を完了し供用を行っているが、20年以上経過した施設が多くあることから機能強化対策計画に基づき、改築更新事業に取り組んでいる。また旧使用料体系時に多くの施設の建設を終えていることから、現状の経営状況に施設規模が見合わなくなってきたことがうかがえるため、維持管理適正化計画の検討をすすめていく。  
 地方公営企業法としての決算数値を踏まえた経営状況の分析を行うとともに、事業費の情報を盛り込んだ経営戦略を令和4年度に改定する予定となっており、今後は経営戦略を活用し経営改善に取り組んでいく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。